

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、0 をダイヤルしてオペレータにつながるように Cisco CallManager を設定する手順について説明します。この機能はまた専用回線によって自動化されるリングダウン (PLAR) として確認します。受付係か代表番号にダイヤルするために速度ダイヤルの設定の同じ結果を実現できるけれども顧客は頻繁にオペレータ用の 0 にダイヤルします。このドキュメントでは、この状態を可能にするための設定方法を説明します。

前提条件

要件

Cisco は Cisco CallManager設定を用いる全般的な精通が

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco CallManagerバージョン 10.5.2 および 11.x に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

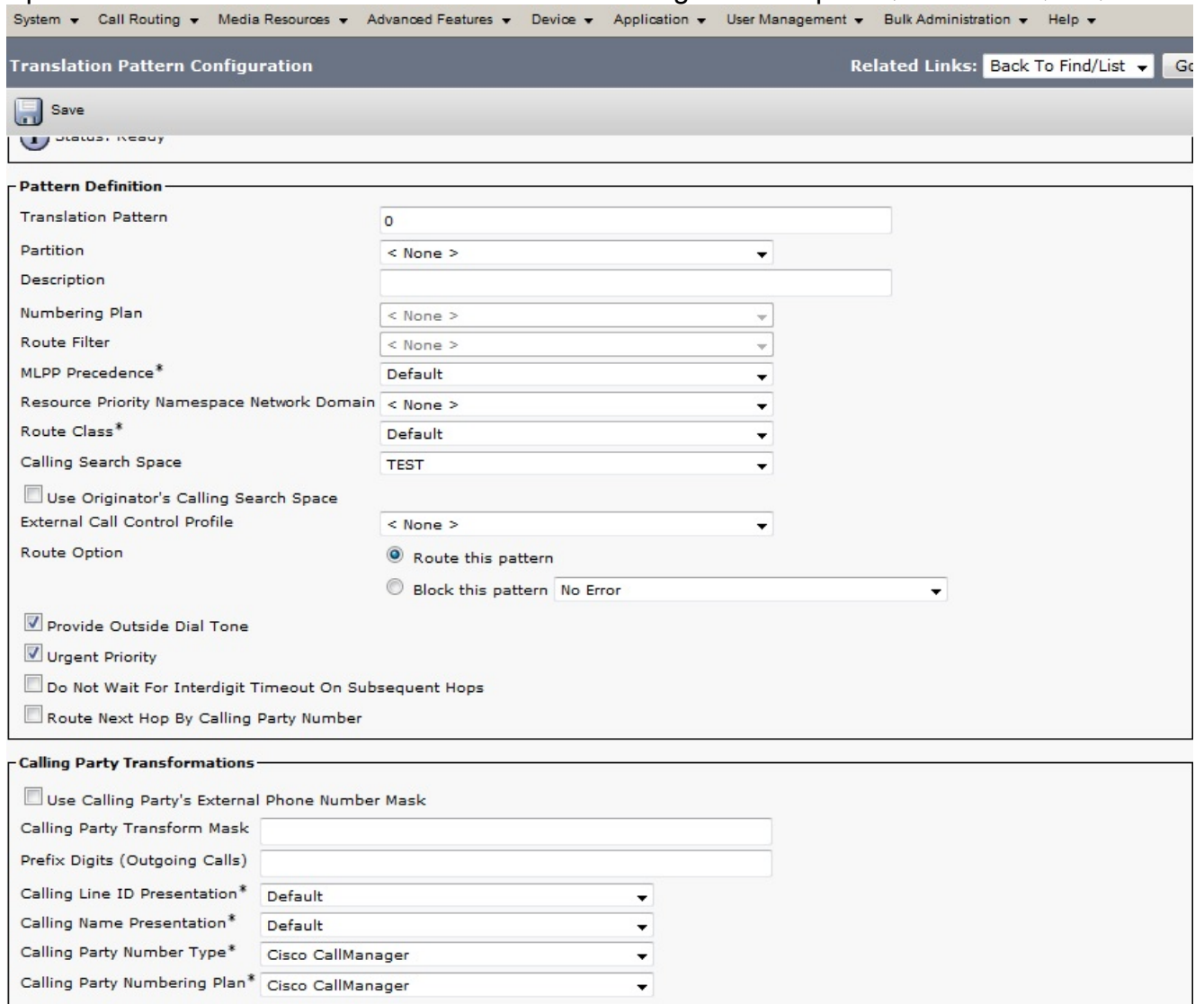
設定

1. > 0 から開始する Route Plan レポート 『Call Routing』 を選択し、他のパターンがないことを確認して下さい (ゼロ)。
2. > **新しい変換パターン** > Add 『Call Routing』 を選択して下さい。
3. Translation Pattern 0 を作成し、Called Party Transform Mask にオペレータの電話番号を指定します。変換パターン コンフィギュレーションウィンドウの例では、4001 はオペレータ

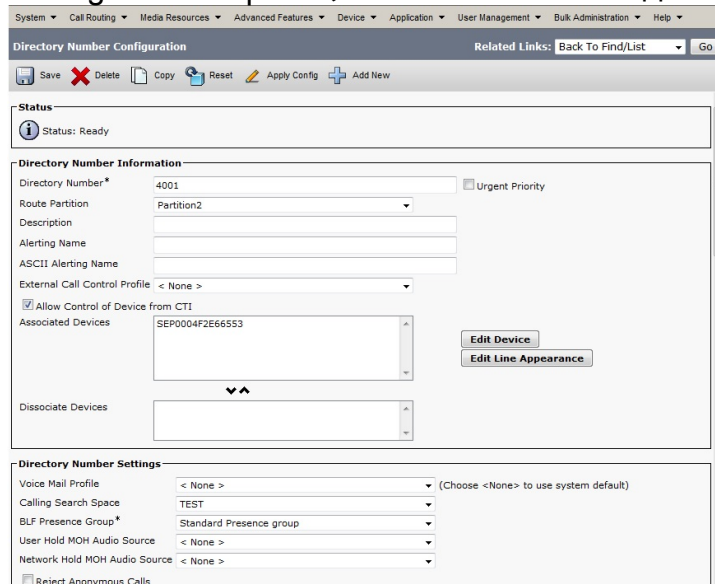


番号です。

4. 変換パターン コンフィギュレーションウィンドウ例は Calling Search Spaces または配分がないことを前提としています。ただし、多くの場合、これらが利用されています。一般の経験に基づく方法は変換パターンのための Calling Search Space が呼出される電話のディレクトリ番号のパーティションが含まれているようにすることです。この場合、Calling Search Space ドロップダウン リストから選択される Calling Search Space テストがあります。



5. 電話ディレクトリ番号 4001 は Partition2 と呼ばれるパーティションに属します。従って、Calling Search Space テストは Partition2 を含む必要があります。



確認

設定をテストするために、0 数字。コールは PLAR のために、4001 この場合設定される拡張で上陸する必要があります。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。